


所属	一般教育科	氏名	堀口真利子 HORIGUCHI, Mariko	
分野等	国語	職名	准教授	
学位	博士（文学）	e-mail/URL	mariko@nagaoka-ct.ac.jp	
キーワード	恋愛、女性、身体、セクシュアリティ、家族、暴力、児童文学			
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> ・村上春樹研究 『ノルウェイの森』（1987）から『騎士団長殺し』（2017）まで、主に親密性に焦点をあてて研究しています。また、海外での村上研究について、特に翻訳及び異文化間の表現問題に取り組む、シドニー大学教授Rebecca Suterの研究書を中心に、その動向を追っています。『村上春樹 表象の圏域—『1Q84』とその周辺』（共著、森話社、2014）『村上春樹『ノルウェイの森』の研究』（共著、沖積舎、2012）など。 ・江國香織、笙野頼子、水村美苗、桐野夏生、角田光代、本谷有希子などを中心とする1980年代以降の日本現代女性作家の小説およびその映像化作品の研究をしています。『江國香織を語る—〈異性愛神話〉は崩壊したのか？』（共著、沖積舎、2009）など。 ・児童文学の歴史および文学テキストにおける小説読解の基本的な方法論、レトリック・思想・物語構造の分析をおこなっています。 ・長岡市出身の作家研究として、現在、杉本鉞子に注目しています。大正末期に出版された『A Daughter of the Samurai（武士の娘）』と訳本の比較や資料から、当時の女性の生き方について研究しています。 			
技術PR・企業に向けて	<p>文学研究のほかに、国語教育の分野において、指導書作成や文章作成に関わる指導なども行っています。また、図書館司書の資格を生かしたレファレンス業務や、地域での本の読み聞かせなどの取り組みも行ってきました。</p>			
小・中学生・保護者に向けて	<p>その時々に出会った本を、大切にしてほしいと思います。</p> <p>言語の芸術である文学の、その奥深い世界を紹介していくなかで、少しでも言葉や人間、心に対して関心を持ってもらえればと考えています。現在では、電子書籍などにより、いつでもどこでも手軽に読書を楽しむことができるようになりました。しかし、時には、本屋や図書館に行ってお本を手に取り、直接触れ、目で楽しみ、その重みや匂いまで味わって欲しいとも思っています。長岡高専の図書館には、多岐にわたる本が並んでいます。ぜひ、覗いてみてください。</p>			